



社会法人さざん会（船橋市）

中川 公二

**職員定着！
楽しい
入居者支援への道
十か条**

のまのまホームズ (6住居 定員30名+サテライト1名)

☆主に知的に障害を持つ方への共同生活援助事業所。

男性：3住居 女性：3住居

一般住宅からの転用：2住居

GH用住居：4住居

区分4～6の方の割合が多い。

楽しい入居者支援への道 十か条 (その1)

☆入居者に関心を持つ。

- ・趣味や関心ごとに触れる。

鉄道、アイドル、アニメ、ゲーム、歌、ドラマ、グルメ等、
入居者の趣味や関心ごとで「あなたの知らない世界」に
導いてもらいましょう。

- ・これまでの生活体験を教えてください。



「自分に関心があるんだな」と思ってもらえる。

入居者と関わり合うことが仕事。

楽しい入居者支援への道 十か条 (その2)

- 肯定的に考える。

練習しておく。

言い換え。

楽しい入居者支援への道 十か条

(その3)

- ☆ユーモアで衣付け (揶揄している訳ではありません。)
支援の方向性が変わる。見方が変わる。
- ・ こだわり ⇒ 強い愛着心
 - ・ 大食漢 ⇒ 食いしん坊
 - ・ 浪費 ⇒ 積極的な消費納税
 - ・ 深夜落ち着つかない ⇒ オールナイター

楽しい入居者支援への道 十か条 (その4)

- あるべき論から脱却する。
- 出来事と支援の間に、職員個人の基準が入り込む。

普通そんなことしない。信じられない。~しなくてはならない。

楽しい入居者支援への道 十か条 (その5)

- ・無理をして物分かりの良い人を演じない。

「やれやれ」 「こまった こまった」 で 距離を測る。

職員間で気遣う。みんな迷っている。

楽しい入居者支援への道 十か条 (その6)

- ・ 職員専有スペースの整理整頓

ストレスとならないように。入居者支援よりも職員間でのやりとりの方がストレスは強い。そのことで入居者支援が楽しめなくなる。

楽しい入居者支援への道 十か条 (その7)

- ・ スタッフ間での約束事は守る。

スタッフ間で合言葉をつくる。(今年はこれでいきましょう！)

※張り出して見える化しても良いくらい。

例：

「急かさない 無理しない」	「分かりやすく 親切丁寧」
「私の仕事場 よその家」	「命令口調は 気分が悪い」
「主役は入居者 職員脇役」	「ホームは 個人情報のか塊」

楽しい入居者支援への道 十か条 (その8)

- ・ 職員間の引継ぎはしっかり行う。互いに確認し合う。

「聞いた」「聞いていない」は最小限に。
それでも起こる。⇒“その6”と同じ。

楽しい入居者支援への道 十か条 (その9)

- 変化球を投げてみる。（重度の知的障害を持つ方の場合。）
支援は個別支援計画に基づき実施され、その進行管理がモニタリングであるかと思えます。
支援において「入居者の安心安全」は何よりも大事ですが、気が付くと「職員の安心安全」が優先され、入居者が求める暮らしとは異なってしまいう状況につながってしまうことがあります。
職員間で意見交換し時には変化球を投げることで、入居者への新たな発見につながります。

楽しく働くための十か条 (その10)

健康第一。しっかり休む。自分をすり減らさないように。